

子育て世帯を応援

新規 産前・産後サポートの充実

441万円

妊娠期から産後1年未満の妊産婦とその家族が、産後うつなどの悩みや不安を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、出産や子育てができるように、心身のケアや親同士の交流、仲間づくりなどを支援する事業所を応援します（関連10ページ）。



母親同士の交流

拡大 不妊・不育治療の助成を拡大

1,037万円

不妊治療や不育治療を受けている人の経済的な負担を軽減するため、治療費の補助率と上限額を引き上げます。

これにより、総合的に京都府内で最も手厚い助成制度に拡充し、子どもを願う人の負担を軽減します（関連10ページ）。

拡大 妊娠・出産を手厚くサポート

921万円

特に心身のサポートが必要な妊産婦とその家族に対し、市内の医療機関などが中心となり、助産師などの専門家による個別の相談支援の体制を強化します。

また、京都府内で初の取り組みとして、流産や死産で家族を亡くされた産婦とその家族に寄り添う相談支援を実施します。

安心安全の確保

拡大 災害に備えた備蓄物資の配備（※）

7,744万円

地震などの大規模災害への備えを強化するため、市内の避難所にパーティションテント、簡易ベッド、簡易トイレ、トイレ用テントなどを配備します。

西消防署の整備

22億80万円

建築から約40年が経過した西消防署を、東消防署中出張所と統合して移転・新築し、災害時の機能強化と消防体制を充実します。



西消防署完成イメージ図

新規 持続可能な医療提供体制の確保に向けた取り組み

2,700万円

公的病院の再編・統合を見据え、事業規模や人員体制・運用などを検討するための詳細なシミュレーションを実施します。

新規 ヘリコプター臨時離着陸場の整備

2,432万円

孤立の恐れがある田井・成生地区にヘリコプター臨時離着陸場を整備します。令和7年度は、整備予定地の測量などを実施します。



ヘリコプター臨時離着陸場完成イメージ図

唯一無二の魅力を未来へ

新規

海外引揚開始80年・世界記憶遺産登録10周年記念事業

3,261万円

本年は戦後・海外引き揚げ開始80年とユネスコ世界記憶遺産登録10周年を迎えることから「引き揚げのまち舞鶴」として、引き揚げの史実と平和の尊さを次の世代や世界へ発信するための取り組みを積極的に展開します。令和7年度は毎年実施している平和祈念式典に加え、シベリア抑留画展、次世代による平和な社会の構築を考える国際平和未来フォーラムなどを開催します。



ユネスコ世界記憶遺産登録資料「白樺日誌」

新規 万博を生かす舞鶴の挑戦

2,376万円

大阪・関西万博をきっかけに、国内外からの誘客を増やし、新たな人の流れを作るための事業を実施します。

「関西パビリオン京都ブース」への出展や経済的な支援を必要とする保護者に対して、小・中学校の校外学習などで万博を見学する費用を支援します。

また、万博をきっかけとした舞鶴・小樽フェリー航路における旅客数の拡大に向けた事業にも取り組みます。



大阪・関西万博「関西パビリオン京都ブース」

新規 まいづる親善大使プロジェクト始動

126万円

さまざまな分野で活躍する舞鶴市にゆかりのある著名人を「大使」に任命し、舞鶴の魅力を市内外に広く発信するとともに、大使と協力し、さまざまな事業を行います。

拡大 赤れんが倉庫群の整備（※）

3億656万円

貴重な国指定重要文化財を未来へ引き継ぐため、文部科学省が所管する赤れんが6号棟の保存修理や耐震補強の工事に着手します。



赤れんが倉庫群

新規 広報が描く舞鶴の未来像

422万円

SNSなどを活用し「伝わる広報」を目指して情報発信を強化。民間のノウハウを活用し、職員の意識向上研修や効果的なSNSの運用、プレスリリース配信サービスによる市外への情報発信を行います。



情報発信ツール



舞鶴の魅力